

2015年度 関東支部 第2回油化学セミナー 開催報告

日本油化学会関東支部 三菱化学フーズ(株) 元田兼一郎

日本油化学会関東支部主催の平成 27 年度第 2 回油化学セミナーが、10 月 31 日 (土) 13:00 ~ 17:00、千葉科学大学 マリーナキャンパス(銚子市)にて開催されました。今回のセミナーは、「身近な科学とこれからの健康 ~意外と気づかなかった科学とこれからの健康への貢献をご紹介します~」のテーマのもと 4 演題を市民の皆様も参加しやすい無料講座の形式で開催いたしました。

当日は 93 名の参加をいただきましたが、その 6 割が市民の皆様であり、関心の深さを感じる事が出来ました。また、質疑応答において、市民の皆様より数々の鋭い質問に対し、演者の先生方が丁寧に回答している姿も印象深く、有意義なセミナーとなりました。

今回の講演演題と内容を以下に紹介します。

1. 「銚子における醤油醸造について」

ヒゲタ醤油株式会社 恵比須 省吾 氏

醤油製造の歴史を紐解きながら、なぜ銚子が日本有数の醤油生産地になっていったかの説明に始まり、現在の醤油製造技術について微生物の関わりについての解説、更には「食とバイオ」というテーマに基づく最新事例「生物学的採毛=従来のバリカンよりも簡便な羊毛収穫システムの研究」も紹介いただいた。

2. 「お茶・コーヒーに含まれるポリフェノールの最新健康機能」

花王株式会社 竹下 尚男 氏

近年、日本人のライフスタイルは大きく変わり、食生活の洋風化や交通機関の発達にともない、内臓脂肪型肥満が増加しつつある。講演では、お茶やコーヒー中に含まれるポリフェノール(茶カテキン・コーヒークロロゲン酸)の脂肪消費の亢進作用について、最新のエネルギー代謝の研究事例を紹介しつつ解説いただいた。

3. 「香りの薬効とその秘密」

山本香料株式会社 山本 芳邦 氏

空腹時に美味しそうな焼き肉やスープの匂いを嗅いだ

だけでお腹がグーグー鳴り出したり、辛いカレーの匂いを嗅いだだけで汗が滲んできたりするように、目に見えない香りを嗅ぐだけで肉体的(フィジカルな)薬理効果を与えることがある。講演においては、主にアロマセラピーに用いられるエッセンシャルオイル(精油)の事例で、香りと健康について解説いただいた。

4. 「知っているようで知らない動脈硬化症」

千葉科学大学薬学部 神崎 哲人 氏

非感染性疾患の内、動脈硬化症に関連した疾患は、外因危険因子(喫煙、糖尿病、高血圧など)を除くことで予防出来る面もあるが、外因危険因子があっても動脈硬化の進まない人、外的危険因子がなくても動脈硬化の進む人がいる。この事象に対し、内的危険因子としての血管壁細胞の性質の差が動脈硬化症の進展に関与していることが最近の研究から明らかになってきているとの紹介があった。



会場の様子



講師の先生方(左から、竹下 尚男氏、恵比須 省吾氏、神崎 哲人氏、山本 芳邦氏)